

ほぞんばん だい しゅう かんが
保存版 第54集 考えよう みんなの人権 テキスト版(ふりがな わ 分かち書き)

でんわばんごう ばんごう しがいきよくばん し ばあい しがいきよくばん
電話番号と FAX番号で 市外局番をお知らせしない 場合の 市外局番は 092です

しめん
紙面 1 ページ

イラストの なか さまざま じんけん かん ばめん
イラストの 中に 様々な 人権に 関する 場面が あります。

イラスト

でんしゃ はし た なら しがいきよくばん かん ばめん
電車が 走り ビルが 立ち並ぶ まちの イラストが 描かれています。ビルは マンションや 商業施設 市役所 オ

フィスビル。まちを とお どうろ いったい がいるじゅ かなん ほどう てんじ
フィスビル。まちを 通る 道路 一体に 街路樹や 花壇。歩道には 点字ブロック。そのまちの なか こ

おとな さまざま ひとびと ちよくめん じんけん かん ばめん
大人まで 様々な 人々が 直面している 人権に 関する 15 の場面が イラストで 描かれています。

イラストの さいご
イラストの 最後に 「やさしい ところや きになる ところを みつけてね」 の 文字

それぞれの 場面の ばめん せいめい
それぞれの 場面の イラストの 説明などは 2、3ページへ。

ふくおかしじんけんそんちようぎょうじすいしんいんかい だんたい じゆんふどう
福岡市人権尊重行事推進委員会 (29団体・順不同)

いっばんしゃだんほうじんふくおかしほいくきょうかい
一般社団法人福岡市保育協会

いっばんしゃだんほうじんふくおかししりつちようちえんれんめい
一般社団法人福岡市私立幼稚園連盟

ふくおかしりつしやうがっこうちようかい
福岡市立小学校長会

ふくおかしりつちゆうがっこうちようかい
福岡市立中学校長会

ふくおかしりつとくべつしえんがっこうちようかい
福岡市立特別支援学校長会

ふくおかしりつこうとうがっこうちようかい
福岡市立高等学校長会

ふくおかけんこうりつこうとうがっこうちようきようかい
福岡県公立高等学校長協会

ふくおかけんしがくきようかいふくおかちくしぶ
福岡県私学協会福岡地区支部

ふくおかしじちきようぎかい 7かいちようかい
福岡市自治協議会7区会長会

ふくおかしこうみんかんかんちようかい
福岡市公民館館長会

ふくおかし きようぎかい
福岡市PTA協議会

ぶらくかいほうどうめいふくおかしきようぎかい
部落解放同盟福岡市協議会

ふくおかしななくだんじよきようどうさんかくきようぎかい
福岡市七区男女共同参画協議会

ふくおかしみんせいいいんじどういいんきようぎかい
福岡市民生委員児童委員協議会

こうえきしゃだんほうじんふくおかしろうじん れんごうかい
公益社団法人福岡市老人クラブ連合会

ほうじんふくおかししょうがいしゃかんけいだんたいきようぎかい
NPO法人福岡市障害者関係団体協議会

こうえきざいだんほうじんふくおか こくさいこうりゆうざいだん
公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団

ふくおかしんけんようごいいんきようぎかい
福岡人権擁護委員協議会

ふくおかしようこうかいぎしよ
福岡商工会議所

ふくおかしきぎょうどうわもんだいすいしんきようぎかい
福岡市企業同和問題推進協議会

ふくおかほうむきよく
福岡法務局

ふくおかしちゆうおうろうどうきじゆんかんとくしよ
福岡中央労働基準監督署

ふくおかしちゆうおうろうどうきじゆんかんとくしよ
福岡東労働基準監督署

ふくおかしちゆうおうこうきようしよきぎょうあんていじよ
福岡中央公共職業安定所

ふくおかひがしこうきょうしよくぎょうあんていじよ
福岡東公共職業安定所

ふくおかみなみこうきょうしよくぎょうあんていじよ
福岡南公共職業安定所

ふくおかにしこうきょうしよくぎょうあんていじよ
福岡西公共職業安定所

ふくおかし
福岡市

ふくおかしきょういくいんかい
福岡市教育委員会

1ページは ^{いじょう}以上です。

^{しめん}紙面2、3 ページ

あなたの ^{ちい}小さな ^{おも}思いやりが ^{だれ}誰もが ^{えがお}笑顔の ^{しゃかい}社会をつくれます

どうわもんだい ^{じよせい}女性の ^{じんけん}人権 ^こ子どもの ^{じんけん}人権 ^{がいこくじん}外国人の ^{じんけん}人権 ^{しょう}障がい者の ^{しゃ}人権 ^{じんけん}高齢者の ^{じんけん}人権 ^{かんせんしゃどう}HIV感染者等の

^{じんけん}人権 ^{さまざま}様々な ^{じんけん}人権の 8つに ^わ分けて ^{せつめい}説明します。

どうわもんだい ^{どうわもんだい}同和問題「同和問題に ^{りかい}関する ^{りかい}理解を ^{ふかめ}深めましょう」

イラスト

さいようめんせつ ^む向かい合っ ^あって ^{いす}椅子に ^{すわ}座っている ^{めんせつかん}面接官 2名 ^{めい}受験者 1名。

めんせつかん ^{しゅっしんち}出身地は ^{どこ?}「どこ?」 ^{かぞく}家族の ^{こうせい}構成は?と ^{じゅけんしゃ}受験者に ^{しつもん}質問をしている。

イラストの「^き気になる」ポイント

さいようめんせつ ^{ほんにん}本人の ^{てきせい}適性や ^{のうりよく}能力に ^{かんけい}関係のない ^{しつもん}質問をしています。

このような ^{しつもん}質問は ^{しゅうしょくさべつ}就職差別に ^{つな}つながる ^{おそれ}おそれもあります。

せつめいぶん 説明文

どうわもんだい にほんしゃかい れきしてき かつて かたちづく みぶんさべつ にほんこくみん いちぶ ひとびと なが あいだ
同和問題は 日本社会の 歴史的 過程で 形作られた 身分差別により 日本国民の 一部の 人々が 長い間

けいざいてき しゃかいてき ぶんかてき ひく じょうたい お し しま にちじょうせいかつ うえ さまざま さべつ う
経済的 社会的 文化的に 低い 状態に 置かれることを 強いられ 今なお 日常生活の 上で 様々な 差別を受

けるなど している わがくに こゆうの じんけんもんだい
けるなど している 我が国 固有の 人権問題です。

どうわもんだい たい あやま ちしき へんけん かいけつ さまた どうわもんだい りかい ふか ひとり
同和問題に 対する 誤った 知識や 偏見は 解決を 妨げます。同和問題への 理解を 深め 一人 ひとりの

じんけん そんちよう しゃかい じつげん
人権が 尊重される 社会を 実現しましょう。

じよせい じんけん 「じぶんらしく 暮らせる 社会へ」

イラスト1

しやくしょ まえ あか だ すがた だんせい か ものぶくろ すがた じよせい こ
市役所の 前に 赤ちゃんを 抱いた スーツ 姿の 男性と 買い物袋を さげた スーツ 姿の 女性と 子ども。

こ ま なか だんせい じよせい かたて こ て じよせい だんせい こ め
子どもを 真ん中にして 男性と 女性が 片手ずつ 子どもと 手をつないでいる。女性も 男性も 子どもも 目じ

りを 下げ にこやかな ひょうじよう ある
りを 下げ にこやかな 表情で 歩いている。

イラストの「やさしい」ポイント

かぞく きょうりよく しごと いくじ
家族が 協力して いきいきと 仕事や 育児を しています。

せつめいぶん 説明文

おとこ しごと おんな かつて こていてき やくわりぶんたん いしき か じ いくじ かいご ちいきかつどう
「男は 仕事 女は 家庭」という 固定的 役割分担 意識に とらわれず 家事 育児 介護 地域活動などにおい

て せきになん じゅうじつかん わ あ だんじよ ども く しゃかい じつげん
て 責任と 充実感を 分かち合い 男女が 共に 暮らしやすい 社会を 実現しましょう。

イラスト2

いえ なか こし て あ た だんせい まゆ だんせい め まえ じよせい だんせい まえ
家の中で 腰に 手を 当て 立っている 男性。眉を つりあげ 目の前の 女性を ののしっている。男性の 前で

女性が 床に座り 頭を下げ 涙を流している。

イラストの「気になる」ポイント

暴言を吐かれ 精神的に 追い詰められています。

説明文

配偶者等からの 暴力には 精神的に 追い詰められることも 含みます。精神的 暴力も 自尊感情の 低下や

体調不良など 心身に 大きな ダメージを 与えます。悩みを 抱えているときは ひとりで 悩まず 相談して ください。

性別を 問わず 起こりうる 問題ですが 被害者の 多くは 女性であるのが 現状です。

子どもの 人権 「すべての 子どもが 夢を 描ける まちを」

イラスト1

アパートの 2階の ベランダに 座っている 子ども。目をつむり 頭をさげ お腹が「ぐ〜」となっている。

アパートの 近くの 建物には 「児童相談 ダイヤル189 (イチ・ハチ・キュー、いちはやく)」の ポスターが 見える。

アパートの 外で ベランダを 見上げる 男性。「相談したいのですが…」と 電話を している。

イラストの「やさしい」ポイント

子どもを 心配した 人が「189」に 相談しています。

イラストの「気になる」ポイント

お腹を すかせた 子どもが 部屋から 閉め出されています。

オレンジ リボンの イラストが掲載されています。

オレンジ リボンは「児童 虐待 防止の シンボルマークです」

せつめいぶん 説明文

児童相談所虐待対応ダイヤル 189(イチ・ハチ・キュー いちはやく)は 虐待かもと 思った時などに すぐに

通告 相談ができる 全国 共通の 電話番号です。通話料は 無料です。あなたの 電話で 救われる 子どもが
います。

イラスト2

ゆか ね 床上に 寝そべっている 子ども。ほん むちゅう へ や 本に 夢中。部屋は ゲームソフトや ぼうし 帽子 ランドセルが ち 散らかっている。

ほごしや くび 保護者は 首を かしげ こま 困った 顔を している。

だれ はなし き 「誰か 話 聞いてくれないかな…」と スマートフォン チャットのように み 見える 画面を おも う 思い浮かべている。

イラストの「気になる」ポイント

子どもの しつけに なや 悩んでいます。

イラストの「やさしい」ポイント

SNSでも 相談 できます。

おやこ 相談 LINE(子ども家庭庁)の にじげん 二次元コードが 掲載されています。

せつめいぶん 説明文

こそだ おやこ かんけい 子育てや 親子 関係について なや 悩んだときは 18歳 未満の 子どもや その保護者の 方などが 相談できる おやこ

のための 相談LINE」があります。まわりに 相談できる ひと が いない、話だけでも 聞いてほしいなど ちょっと

した^{だいじょうぶ}ことでも 大丈夫です。ひとり^{なや}で 悩まず ^{きがる}お気軽に ^{そうだん}ご相談 ください。

外国人の^{じんけん}人権「^{こくせき}国籍による^{さべつ}差別のない^{しゃかい}社会に」

イラスト1

^{こうえん}公園の ^{ベンチ}ベンチに ^{すわ}って座っている ^{じょせい}女性。女性^{じょせい}は ^{スマートフォン}スマートフォンを ^て手に ^も持ち SNSに「^{〇〇}〇〇人は ^{はんざいしゃ}犯罪者だ」と ^か書き込み^こをしている。目を ^め吊り上げ ^{あくい}悪意が ^{こも}ったような ^{ひょうじょう}表情。

イラストの「^き気になる」ポイント

^{こころ}心ない ^{ことば}ことばに ^{きず}傷ついている ^{ひと}人が います。

イラスト2

^{くやくしょ}区役所の ^{まどぐち}窓口で ^む向かい合^あって ^た立っている ^{がいこくじん}外国人と ^{しよくいん}職員。外国人は ^{かたて}片手を ^{こうとうぶ}後頭部に ^{まわ}回し ^{こま}困っているよう^{ひょうじょう}な表情。

^{しよくいん}職員は ^{タブレット}タブレットを ^も持って「^{ごみだし}ごみ出し ^{ルール}ルールを ^{せつめい}説明します」と ^{がいこくじん}外国人に ^い言っている。

イラストの「やさしい」ポイント

^{がいこくじん}外国人に ^{ちいき}地域の ^{ルール}ルールを ^{くふう}工夫して ^{つた}伝えて います。

^{せつめいぶん}説明文

^{がいこくじん}外国人で ^{あること}あることを ^{りゆう}理由に ^{きがい}危害を ^{くわ}加えようとしたり ^{ぶじやく}侮辱したりする ^{ないよう}内容などの ^{げんどう}言動は やめましょう。

^{ふくおかし}福岡市では ^{てんにゆうじ}転入時における ^{ちいき}地域の ^{せいかつ}生活ルール ^{マナー}マナーの ^{せつめい}説明や ^{そうごりかい}相互理解の ^{そくしん}促進などに ^と取り組んでいます。

障^{しょう}がい者の^{しゃ}人権「^{だれもが}だれもが ^{あんしん}安心して ^く暮らせる ^{しゃかい}社会に」

イラスト1

アパートの 一室。倒れた 車椅子。「ドン!!」と 大きな音。床に 尻もちを ついている 青年。青年を 見下ろす

成人男性。成人男性は 眉を 吊り上げ 握りこぶしを 振りかざしている。青年は 身を 守るように 左手で 顔を

覆っている。隣の 部屋の 住人は「え!? 大きな 音が また…」と 気にしている。

イラストの「気になる」ポイント

同居の 家族から 暴力を 振るわれ 大きな 物音が…

イラスト2

商業施設で 向かい合う 白杖を 持った 男性と 女性 店員。男性は 店員に「〇〇を 持ってきて くれませんか」と 言っている。女性 店員は 赤い グラスを 男性に 渡そうとしている。

イラストの「やさしい」ポイント

お互いの 状況を 理解し 建設的な 対話が 行われています。

せつめいぶん 説明文

障害者 虐待 防止法には 虐待に 気づいた人の 通報 義務が 定められています。不自然な 体の 傷や

近所から 大きな 声や 物音が するなどの 虐待の サインを 見逃さず「虐待かもしれない」と 思ったら すみや

かに 通報を お願いします。

また 障害者差別解消法が 改正されたことにより 令和6年4月1日から 事業者は 障がいの ある人などから

社会的 障壁 (通行 利用しにくい 施設 設備など 社会における 様々な 障壁)を 取り除いて ほしいという 求

めが あった 場合 その負担が 重すぎない 範囲で 対応を しなければ いけません。

高齢者の人権「安心して地域で暮らせる社会に」

イラスト1

車いすに乗った高齢者の女性。前には膝をおりしゃがんでいる女性。二人は目を合わせ両手を握りあっている。しゃがんでいる女性は高齢者の女性に「後見人になりました。一緒に考えていきましょう」と伝えている。

イラストの「やさしい」ポイント

後見人と高齢者があいさつをしています。

説明文

成年後見制度は判断能力が不十分な高齢者や障がい者の生活や財産を守るための制度です。

後見人は本人の意思を尊重しつつ法律的な支援を行います。財産管理や身上保護など日常生活におけるさまざまな面でのサポートが後見人の役割です。福岡市は市民後見人の活躍を推進しています。

HIV感染者等の人権「HIV等についての正しい認識を」

イラスト1

飲食店。エプロンを付けた男性職員が女性上司から「HIVに感染しているんだって。接客しないで」と指示されている。両手を体の前であわせ、うつむき加減で目をつむり悲しそうな表情の男性職員。

イラストの「気になる」ポイント

HIVは日常生活では感染しないのに誤った理解で差別されています。

レッドリボンのイラストが掲載されています。

レッドリボンはエイズに対して偏見を持っていないエイズと共に生きる人を差別しないシンボルとされています。

説明文

エイズの原因となるHIV感染は医学の進歩によりたとえ感染しても適切な治療を受ければエイズの

発症を防ぎ感染していない方と同じくらい長く健康的な社会生活を送ることができます。HIVは、日常

生活のなかでは感染しませんが誤解や偏見で苦しんでいる方がいます。

様々な人権「様々な人権問題について理解や認識を深める社会に」

イラスト1

テーブルでノートパソコンを見ている女性。ネットに「〇〇消えろ」「〇〇は××だ」「〇〇さんは××らしいよ」と書き込みがなされている。

女性は書き込みを見て「うそよ。こんなことひどい」とつぶやきながら涙を流している。

イラストの「気になる」ポイント

書き込みに傷ついている人がいます。

説明文

ネットの向こう側にいるのはひとりの人間です。自分が同じことを言われたらどう感じるか書き込む前

によく考えてみましょう。

イラスト2

ふた ばめん
二つの 場面の イラスト。

ひと め ふどうさんがいしゃ ようじ ばめん ふどうさんがいしゃ らいてん
一つ目は 不動産会社で 用事を すませた あとの 場面。不動産会社から「ご来店 ありがとうございます」と

みおく しゃいん だんせい ふどうさんがいしゃ て く ある ふたり め さげ
見送る 社員。男性の カップルが 不動産会社を あとにして 手を 組んで 歩いている。二人とも 目じりを 下げ

にこやかな ひょうじょう
表情。

ふた め しゃくしょ いっしつ ばめん て く た じょせい しゃくしょ しゃくいん しゃるい じゅ
二つ目は 市役所の 一室での 場面。手を 組んで 立っている 女性 カップル。市役所の 職員から 書類を 受

りょう じょせい め さげ にこやかな ひょうじょう かお み あ
領している。女性 カップルは 目じりを 下げ にこやかな 表情で 顔を見合わせている。

イラストの「やさしい」ポイント

ふくおかし せいてき しゃいん きぎょうとう おうえん きぎょう とうろく せいど
福岡市には 性的マイノリティを 支援する 企業等を 応援する「ふくおか LGBTQ フレンドリー企業 登録 制度」

があります。とうろく きぎょう なか いりぐち てんない せいてき しょうちよう しょく かか
登録 企業の 中には 入口や 店内に 性的マイノリティの 象徴である 6色の レインボーを 掲げ
ている ところも あります。

ふくおかし たが じんせい いっぽう また そうほう せいてき ふたり かんけい
また 福岡市では 互いを 人生の パートナーとする 一方 又は 双方が 性的マイノリティである お二人の 関係を

そんちよう ふくおかし せんせいせいど じっし
尊重するため 福岡市パートナーシップ宣誓制度を 実施しています。

せつめいぶん
説明文

せい ひとり こせい あらわ かた く あ ひと さまざま
性の ありようは 一人 ひとりに 個性があるように その 表れ方や 組み合わせも 人によって 様々です。それぞ

れ ひと あ まえ たが う そんちよう あ たいせつ
れの 人にとっての「当たり 前」をお互いに 受けいれ 尊重し合うことが 大切です。

イラスト3

ろじよう だんせい こ つ ははおや だんせい しょめい も ははおや ちから すこ あたま さ
路上に 男性と 子どもを 連れた 母親。男性は 署名を 持ち 母親に「お力を ください」と 少し 頭を 下げて

ねが ひと じょせい しょめい み
お願いしている。女性は 署名を 見ている。

イラストの「やさしい」ポイント

拉致問題に 関心を 寄せ 署名活動を 行うことで 解決に 向けて 取り組んでいます。

ブルー リボンの イラストが 掲載されています。

「ブルー リボンは 拉致被害者の 方々が 一日も 早く 帰国することを 願うものです」

説明文

北朝鮮による 拉致問題は 発生から 長い 時間がたち 一日も 早い 解決が 求められています。一人ひとりが

関心を 寄せ 行動していくことが 問題解決のための 力に なります。

北朝鮮 人権 侵害 問題 啓発 週間 12月10日 から 16日まで。

2,3 ページは以上です。

紙面4ページ

人権に 関する 情報 提供 ・ 相談 窓口

人権 全般・同和 問題

様々な 人権 問題に 関する 相談

■人権啓発センター(ココロンセンター) 人権啓発相談室

月～金曜日(祝日・年末年始を除く)

午前10時～午後5時(正午～午後1時を除く 相談受付は午後4時半まで)

電話 717-1247

■^{ほうむきょく}法務局 ^{みんなのじんけん}みんなの人権 ^{ばん}110番

^{げつ}月～^{きんようび}金曜日 (^{しゆくじつ}祝日・^{ねんまつねんし}年末年始を除く)

^{ごぜん}午前8時半～^{ごご}午後5時15分

^{でんわ}電話 0570-003-110

■^{ほうむしやう}法務省 ^{インターネット}インターネット ^{じんけん}人権 ^{そうだん}相談 ^{うけつけ}受付 ^{まどぐち}窓口

ホームページ <https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>

^{じよせい}女性の ^{じんけん}人権

^{かてい}家庭 ^{しごと}仕事 ^い生き方などの ^{なや}悩み ^{そうだん}相談

■^{だんじよきやうどうさんかくすいしん}男女共同参画推進センターアミカス ^{そうごうそうだん}総合相談 (^{でんわ}電話・^{めんせつ}面接 (^{よやく}予約が ^{ひつよう}必要)・^{じよせい}女性 ^{そうだんいん}相談員)

^{げつ}月～^{にちようび}日曜日 (^{だい}第2・^{さいしゆうか}最終火曜日、^{ねんまつねんし}年末年始を除く)

^{ごぜん}午前10時～^{ごご}午後4時半

^{だい}第2・^{げつようび}4月曜日は ^{ごご}午後8時まで (^{しゆくきゆうじつ}祝休日は ^{ごご}午後4時半まで)

^{でんわ}電話 526-3788

FAX 526-3766

^{さまざま}様々な ^{ふあん}不安を ^{かか}抱える ^{じよせい}女性の ^{そうだん}相談

■^{つながり}つながりサポート ^{そうだんしつ}相談室 ^{でんわ}電話 ^{そうだん}相談

^{げつ}月・^{すい}水・^{きんようび}金曜日 及び ^{だい}第1～4 ^{どようび}土曜日 (^{しゆくきゆうじつ}祝休日・^{ねんまつねんし}年末年始を除く)

^{ごぜん}午前10時～^{ごご}午後5時

てんわ
電話 080-8511-8080

はいぐうしゃ
配偶者・パートナーからの ^{ぼうりよく}暴力(DV)に ^{かん}関する ^{そうだん}相談

■ ^{はいぐうしゃぼうりよくそうだんしえん}配偶者暴力相談支援センター ^{そうだん}DV相談 ^{せんよう}専用 ^{てんわ}電話

^{ごぜん}午前10時~^じ午後5時(火曜日は^じ午後8時まで)

てんわ
電話 711-7030 FAX 711-7030

■ ^{そうだん}アミカスDV相談ダイヤル

^{すい}水・^{もくようび}木曜日(年未年始を ^{のぞ}除く) ^{ごぜん}午前10時~^じ午後4時

てんわ
電話 526-6070

FAX 526-3766

^こ子どもの ^{じんけん}人権

^こ子どもや ^{かてい}家庭 ^{ぎゃくたい}虐待に ^{かん}関する ^{そうだん}相談

■ ^こ子ども ^{そうごうそうだん}総合相談センター(えがお館) ^{かん}

^じ24時間受付(年未年始を ^{のぞ}除く)

てんわ
電話 833-3000

FAX 832-7830

■ ^{かくくほけんふくし}各区保健福祉センター ^{こそだ}子育て支援課 ^{しえんか}

^{げつ}月~^{きんよう}金曜(祝日・年未年始を ^{のぞ}除く)

^{ごぜん}午前9時~^じ午後5時

ひがしく でんわ
東区 電話 645-1082 FAX 631-1511

はかたく でんわ
博多区 電話 419-1086 FAX 402-2703

ちゅうおうく でんわ
中央区 電話 718-1106 FAX 771-4955

みなみく でんわ
南区 電話 559-5195 FAX 559-5149

じょうなんく でんわ
城南区 電話 833-4108 FAX 822-2133

さわらく でんわ
早良区 電話 833-4398 FAX 831-5723

にし く でんわ
西区 電話 895-7098 FAX 881-5874

じどうそうだんじょぎやくたいたいおう
■児童相談所虐待対応ダイヤル

でんわ
電話 189(いち・はや・く)

こうれいしゃ じんけん
高齢者の人権

こうれいしゃ ぎやくたいとう こうれいしゃ けんり ようご かん そうだん
高齢者 虐待等(高齢者の 権利 擁護)に関する 相談

■お住まいの す 地域を ちいき たんどう 担当する「いきいきセンターふくおか」(ちいきほうかつしえん 地域包括支援センター)

または つぎ 次の かくく ちいきほけん ふくしか 各区地域保健福祉課へ

■かくくほけん ふくしか 各区保健福祉センター ちいきほけん ふくしか 地域保健福祉課

げつ きんようび しゅくじつ ねんまつねんし のぞ ごぜん じ ごご じ
月～金曜日(祝日・年末年始を 除く)、午前9時～午後5時

ひがしく でんわ
東区 電話 645-1087 FAX 631-2295

はかたく でんわ
博多区 電話 419-1099 FAX 402-1169

ちゅうおうく てんわ
中央区 電話 718-1110 FAX 734-1690

みなみく てんわ
南区 電話 559-5132 FAX 559-5135

じょうなんく てんわ
城南区 電話 833-4112 FAX 822-2133

さわらく てんわ
早良区 電話 833-4362 FAX 833-4349

にし く てんわ
西区 電話 895-7078 FAX 891-9894

きゅうじつ やかんこうれいしやぎやくたいつうほう
【休日・夜間高齢者虐待通報ダイヤル】

てんわ
電話(フリーコール) 0800-123-9563

げつ きんようび ご ご じ よくじつごぜん じ
月～金曜日 午後5時～翌日午前9時

ど にち しゅくじつ ねんまつねんし ごぜん じ よくじつごぜん じ
土・日・祝日・年末年始 午前9時～翌日午前9時

しょう しゃ じんけん
障がい者の 人権

しょう しゃ ぎやくたい かん つうほう とどけて まどぐち じかん にちたいおう
障がい者 虐待に関する 通報 届出の 窓口 (24時間365日対応)

■ せんよう てんわ
専用ダイヤル 電話 711-4496

ちようかくしょう ひと
聴覚障がいの ある 人は FAX 738-3382

メール gyakutai@fc-swc.org

しょう しゃ けんり しようご さべつ かいしょう かん そうだん
障がい者の 権利 擁護・差別 解消に関する 相談

■ しょう しゃ ばん しんたいしょうがいしやふくしきょうかい
障がい者110番 (身体障害者福祉協会)

げつ きんようび だい だい もくよう のぞ ごぜん じ ご ご じ
月～金曜日(第2・第4木曜を 除く)、午前9時～午後5時

だい だい もくよう しょうご ご ご じ
第2・第4木曜、正午～午後8時

その他休日 年末年始は 留守番電話 ファックス等で 受付

電話 738-0010 FAX 791-7687 メール shougai110@c-fukushin.or.jp

外国人の 人権

外国語での 相談

■福岡市外国人総合相談支援センター（23の言語に 対応）

月～金曜日（祝日・年末年始を除く）、午前9時～午後6時（相談 受付は 午後5時半まで）

電話（フリーダイヤル）0120-66-1799 FAX 262-2700

※人権啓発センター 男女共同参画推進センター・アミカス 子ども総合相談センター（えがお館） 各区保健福祉

センターは 電話 通訳を 使った 外国語での 相談が できます。

HIV感染者等の 人権

HIV感染症・エイズに 関する 相談

■福岡市エイズダイヤル

電話712-8391 FAX406-5075

様々な 人権

性的マイノリティに 関する 電話 相談

■弁護士による LGBTQ 電話 相談（相談 無料）

第2木曜日・第4土曜日 正午～午後4時

てんわ
電話070-7655-1698

※LGBTQ とは レズビアン ゲイ バイセクシュアル トランスジェンダー クエスチョニング または クイアの

かしらもし
頭文字を まとめたもので ここでは 性的マイノリティの 総称として 使用しています。

■性的マイノリティの 方の メンタルヘルスに 関する 相談 (福岡市精神保健福祉センター)

だい だい すいようび ごぜん じ ご ご じ しゅくじつ ねんまつねんし のぞ
第1・第3水曜日 午前10時～午後1時(祝日・年末年始を 除く)

てんわ
電話737-8829

※対応している 医療機関の 情報など メンタルヘルスに 関すること

その他の 人権問題に 関する 相談

■「人権全般・同和問題」に 記載の 相談先へ お問い合わせ ください。

がつよつか とおか ふくおかしじんけんそんちゆうしゅうかん
12月4日から10日は「福岡市人権尊重週間」です

がつ にち ど がつ にち きん ふくおかしやくしよ ふくおかし ちゅうおうく てんじん ちようめ ばん ごう かい たもくてき
11月29日(土)から 12月5日(金)には 福岡市役所(福岡市 中央区 天神1丁目8番1号)1階の 多目的 スペ

ースにおいて 令和7年度 人権 尊重 作品の 入選 作品(ポスター・標語)を 展示します。

ひょうご しょうがく ねんせい さくひん
標語 小学6年生の 作品

「多様性 受け入れ広がる 豊かな未来」

かいが しょうがく ねんせい さくひん
絵画・ポスター 小学4年生の 作品

よこむ じいろ あお ちゅうおう おお なか はだ ちが がんたい
横向きの ポスター。地色は 青です。中央に 大きな ハートマーク。その中に 肌の色が 違う ひとや 眼帯を

した人などの 50名以上の 顔が 描かれています。ハートマークは 人の 両手で 支えられています。ハートマークの 向かって 右側に「あたたかい 心」 左側に「みんなで 広げよう」の 文字。

絵画・ポスター 小学6年生の 作品

縦向きの ポスター。広場が 描かれています。広場は 緑の草が 一面に はえ 四隅には 木があります。広場には 9人の 子どもたち。子どもたちの 髪と 肌は 様々な 色で 塗られています。子どもは 手を 広げ 楽しそうにしている 様子。青い空には 虹が かかっており 虹の 上には 太陽と 雲が 描かれています。空の 中央には 「みんな なかよし」の 文字。

福岡市人権啓発センター(愛称 コロンセンター)

お問い合わせ 電話717-1237 FAX724-5162

ホームページ コロンセンター福岡で 検索

■施設案内 図書・DVD等の閲覧・貸出など

■開館時間 午前10時～午後9時

土曜日 年内最終開館日は 午後5時半まで

■休館日 日曜日 毎月最終 土曜日 祝休日 年末年始

■所在地 〒810-0073 福岡市 中央区 舞鶴 2丁目5番1号

福岡市健康づくりサポートセンター 8階(あいれふ)

法務省委託事業

4ページは以上です。

これで 保存版 第54集 考えよう みんなの 人権は 終わりです。